

## 本時のねらい

・自分の動きとお手本の動きを見比べ、自分の膝抱え込み跳びに生かすことができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・iPad のカメラ機能と Keynote を使い、自分の動きとお手本の動きの共通点、相違点に気づき、膝抱え込み跳び（閉脚跳び）ができるようになる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad ・ Keynote
- ・ カメラ ・ Teams

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備体操 マット・跳び箱・ロイター板の準備</li> <li>○本時の課題提示 「ひざかかえこみとびのコツマスターになろう！」</li> <li>○本時のポイント、跳び方、ステップアップ練習法の確認 ～跳び箱の設定（6か所）～ 中抜け（4段）、3段、4段、5段（2か所）、6段</li> </ul>	
展開 (22分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○抱え込み跳びのコツ確認のためのステップアップ練習(5分・タブレットなし) <ul style="list-style-type: none"> <li>①真ん中が抜けた跳び箱で跳ぶ</li> <li>②跳び箱の上に正座で乗る→手で支え両足から降りる</li> <li>③跳び箱の上に両足で乗る→両足から降りる</li> <li>④膝抱え込み跳びにチャレンジする</li> </ul> </li> <li>○自分の動きを動画で撮り、お手本と見比べ、気づいたことを書く。(10分・タブレットあり)</li> <li>○気づいたことを記入後、自分の課題を何度も練習（7分・タブレットなし）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアで、お互いに撮影する。</li> <li>○撮ってもらった動画を見て、お手本動画と自分の動きを確認し、Keynote に気づいたことを書き込む。</li> <li>○練習しながら、自分の動きや友だちの動きを動画で見て自分の動きの改善に繋げる。</li> </ul>
まとめ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○片付け、振り返り、けがの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の気づいたことを書いたカードは Teams で提出する。</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：ペアで友だちの跳び方を撮影する様子



写真2：撮った動画はすぐに確認し、アドバイスをもらう様子



写真3：自分の最もよかった跳び方とお手本を見比べ、気づいたことを書く様子

## 児童生徒の反応や変容

- ・ペアで動画を撮り合い、すぐにその動きをチェックすることで、どこをどうすればより上手になるのかを修正することができていた。
- ・相手の動きに注意して撮影するので、具体的なアドバイスをすることができていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・Keynote に動画を複数貼り付け、同時に再生することは、インターネット環境がなくてもでき、視覚的に動きを確認できる。
- ・撮影する側も友だちの動きを見ることでアドバイスしたり、自分の動きの改善に繋がったりすることができる。